

公表 事業所における自己評価総括表

事業所名	UPDATE新江古田スタジオ			
保護者評価実施期間	2026/02/05		～	2026/02/28
保護者評価有効回答数	(対象者数)	80	(回答者数)	57
従業者評価実施期間	2026/02/05		～	2026/02/28
従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	11
事業者向け自己評価表作成日	2026/03/19			

分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・お子様の状況にあわせて個別や集団で療育を行うことができる。	・年齢や発達特性に応じた療育内容を取り入れている。 ・また職員間で定期的に活動やプログラムの見直しを行い、お子様の状況に合わせた支援を行っている。	・個別や集団活動の内容、バリエーションをさらに深めていく。 ・お子様が主体的に活動に参加できるよう、お子様に合わせて一緒にスケジュール管理等を行っている。
2	季節やニーズに合わせたイベントを定期的で開催している。	・季節行事やニーズに応じた活動プログラムの設定を行っている。	・親子参加型等の大人数でのイベントや、地域資源を活用した外部でのイベントを企画していく。
3	・トレッキングやアバターなどデジタル技術を活用した療育を提供することができる。	・約束事や順番待ちなど療育士がいるからこそできるデジタルを通じた取り組みやすいSSTの環境設定を行っている。	・設備の点検やアップデートを定期的に行い、活動の充実化を図る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・室内スペースを十分に確保することの困難さ。	・療育設備や事業所の間取りなど。 ・療育時、お子様の特性や個性、嗜好などによりスペース共有が難しい場面があることなど。	・仕切りカーテンを設置し、個室の確保を行った。 ・公園などの地域資源を活用することにより、お子様一人一人に合わせた十分なスペースを確保していく。
2	・騒音対策が必要な点。	・マンション内の施設ということもあり、住民に配慮した事業運営が必要である。	・床の防音工事を行った。 ・また騒音に繋がるような活動内容の際は公園など地域資源を活用する、床や壁にマットを敷くなどの防音対策に取り組んでいく。
3	・机上活動など集中して行う活動の設定の困難さ。	・ボルダリングなど視覚的な情報の多さ。	・雲梯や一部のボルダリングの撤去を行った。 ・個室を使つての活動を行うなど状況に合わせた活動場所の設定を行う。